

伊勢市地域審議会平成18年度第2回会議(4地区地域審議会合同開催)
会議概要

(合同会議)

- 1 開催日時 平成18年10月12日(木)午後7時～午後8時40分
- 2 開催場所 小俣図書館 ホール
- 3 会議内容 市長マニフェスト説明
市政についての報告
審議会への諮問

- 4 出席委員 別紙のとおり
- 5 欠席委員 別紙のとおり
- 6 出席職員 別紙のとおり
- 7 議事概要
 - (1) 市長マニフェスト説明 市長よりマニフェストの説明
 - (2) 市政についての報告 総合政策推進部長より財政収支見通し、行財政改革大綱実施計画、新市建設計画アクションプログラムについて説明。まちづくり推進課長よりコミュニティバス運行について説明。合併調整室長より庁舎等施設の有効利用について説明

 - (3) 審議会への諮問 市長から4地区地域審議会に諮問書の交付。諮問内容・諮問理由については、別紙のとおり。

休憩の後、各地区地域審議会において個別会議を開催

別紙

伊勢市地域審議会平成18年度第2回合同会議

出席者	<p>伊勢地区 石田美和委員、小川斌夫委員、垣崎まゆみ委員、櫻井治男委員、竜田和代委員、西山裕司委員、春木千富委員、前田世利子委員、松村富美雄委員、山本はるみ委員</p> <p>二見地区 奥野雅則委員、柏端長一委員、北井伸治委員、北岡孝敏委員、北村峰記委員、酒徳 孝委員、須崎京子委員、中村 恒委員、橋本清美委員、濱條幸久委員、濱千代利弘委員、松本誠委員、宮後朝訓委員、八木直己委員</p> <p>小俣地区 岩尾栄三委員、岩尾昇平委員、岩尾隆生委員、大北喜代壽委員、奥村節夫委員、越智晶俊委員、織家貞雄委員、楠畑忠雄委員、小林幸代委員、正住興彦委員、中川欣也委員、中西美知代委員、廣 政男委員、馬瀬洋子委員、松家孝司委員、宮本 清委員、吉田進一委員、山口友宏委員</p> <p>御園地区 一蝶哲司委員、浦崎恵子委員、大西勝洋委員、奥本一志委員、倉世古淳子委員、戸上米子委員、中北好美委員、中村 正委員、西村 正委員、西村雅弘委員、西脇英一委員、濱口繁一委員、平野あけみ委員、藤原ひろみ委員、宮本隆生委員、森真吾委員、山崎 力委員、山本健司委員</p>
欠席者	<p>伊勢地区 太田浩司委員、 奥田良平委員、奥野長衛委員 田村昭十郎委員、中村基記委員、西浜 隆委員 松月ひろ子委員、山崎 智委員</p> <p>二見地区 松本徳男委員</p> <p>小俣地区 藤村元美委員、村田恵子委員</p> <p>御園地区 中西 源委員、中村浩一委員</p>
出席職員	<p>市長、市理事（市町村合併担当兼財政健全化担当）、合併調整室長、総合政策推進部長、政策課長、まちづくり推進部長、まちづくり推進課長、二見総合支所長、二見総合支所地域振興課長、小俣総合支所長、小俣総合支所地域振興課長、御園総合支所長、御園総合支所地域振興課長ほか合併調整室、政策課及び各総合支所地域振興課の担当職員</p>

新市の一体感の醸成について（諮問）

〔諮問内容〕

市民が「自分たちで考え、自分たちでまちをつくっていく」という市民の意欲を生かすことができるまちを目指すため、次の視点からの新市の一体感の醸成について

- (1) 市民参画・市民活動支援
- (2) 分権型社会の構築
- (3) コミュニティの形成・地域振興

〔諮問理由〕

地方分権の進展により、自己決定・自己責任に基づく自治体運営が求められており、これまで以上に、行政を市民の意思に基づいて行う「市民のための自治体」を確立することが大切となっている。

また、地域や特定の分野に関する市民、NPO等の活動が活発化してきており、これら市民、NPO等の自立した活動と行政が協働することで、豊かな市民生活、生き生きとしたまちの実現が図られていくこととなる。

「市民自治」を実現するためには、これまでそれぞれの市町村で培われてきた仕組みやノウハウを集積し、また、それぞれの地域資源を新市の中で循環・結合させることで、一体感の醸成を早期に図り、新市における自治の仕組みづくりを進めていくことが求められている。

伊勢市地域審議会平成18年度第2回会議(4地区地域審議会合同開催)
会議概要

(伊勢地区地域審議会)

- 1 開催日時 平成18年10月12日(木)午後8時50分～午後10時
- 2 開催場所 小俣図書館2階 会議室
- 3 議事内容 会議の公開に関することについて
今後の地域審議会の運営について
- 4 出席委員 石田美和委員、小川斌夫委員、垣崎まゆみ委員、櫻井治男委員、
竜田和代委員、西山裕司委員、春木千富委員、前田世利子委員、
松村富美雄委員、山本はるみ委員
- 5 欠席委員 太田浩司委員、奥田良平委員、奥野長衛委員、田村昭十郎委員、
中村基記委員、西浜 隆委員、松月ひろ子委員、山崎 智委員
- 6 出席職員 総合政策推進部長、政策課長、政策課政策係長、政策課政策係員1人
- 7 議事概要

(1) 会議の公開に関することについて

- 会 長 最初に、審議会の会議の公開に関する事項についてお諮りをしたい。事務局より説明をお願いしたい。
- 事 務 局 (公開に関する要領 傍聴に関する要綱等を説明)
- 会 長 ご確認いただき、全体的に問題がなければそれでよしという進め方でよいか?趣旨については、説明のとおり公開ということで、よいか?ご確認いただき、何かご質問があればお願いしたい。
- 委 員 公開方法について、傍聴は前提となるのか?傍聴をさせなければならぬという前提はあるのか?
- 会 長 会議のプロセスの公開という意味で、傍聴は前提となる。ただし、内容によっては非公開とすることができる。
- 委 員 会議の途中で、どこから非公開にするのか?
- 会 長 それは、この場での決定ということになるが、議題によっては、あらかじめ非公開の会議とすることもできる。
- 委 員 会議の日程は事前に周知するのか?または、しなければならないことなのか?事務局に聞きたい。
- 事 務 局 しなければならないということではない。
- 会 長 事務局の意図としては、一般的に傍聴される方も取材する方も、傍聴を前提にしておかないと、傍聴や取材ができなくなってしまう。ここでは、そのような人が会場に入れるとい

う保障をしていることである。

委員 傍聴が前提であれば、会議があることを事前に公表しなければならない。

会長 こうした会議については、傍聴ができないかという問い合わせも出てくるかもしれない。その方法等についても、この審議会で決められるということである。

総合政策推進部長 合併の際の、地域審議会設置の協議の中で、会議は原則公開となっている。公開の一般的な方法として、傍聴と、簡易的な議事録の公開・公表が一般的である。地域審議会の開催については、ホームページに掲載する程度を考えている。日程が公表されていなければ、公開とは言えないと考えている。余程難しい議題に関しては、情報公開条例に基づき、非公開とし、配慮することができる。

会長 今の内容について、公開について一般的な手法を採用していきたいということと、この会議がいつ行われるか等の日程も、示していくということではいかがか？重要な点であったので、ご確認いただきよかったです。

委員 了承

会長 傍聴に関してはいかがか？

委員 市議会もこのような決まりか？

事務局 ほとんど同じである。簡略化し、修正した。

委員 先程も話にあったが、これからはこのような会議は、公開が原則であろう。

会長 審議のプロセスに市民の参画を念頭においた運営になると思われる。閉じた会議では、本来の主旨に沿わないだろう。

委員 議題によっては非公開のものもあるのだろう。

会長 きちんとルールに従って非公開とする。

委員 (公開としてしまうと)自由な議論ができにくい恐れもある。

会長 公開を保障し、そのルールをきちんと決めておかないと混乱を生じることもあるので、大切であると思う。

政策課長 議題によっては非公開にすることもできるので、率直にご意見をいただきたい。

委員 了承

(2) 今後の地域審議会の運営について

会長 市長より諮問事項があった。それに答えなければならない。

任期の終了までに答えなければならないが、どのように議論を進めていくか。諮問の内容については、非常に大きな話であるが、事務局から補足があればお願いしたい。

政策課長 新市建設計画のプロジェクトの3つについてご確認いただき、3つの視点から審議会の方でまとめていただければ幸いである。

会長 最初に意見交換を。思われたことをお聞かせ願いたい。

政策課長 お配りした新市建設計画のアクションプログラムの3ページ、4ページ、5ページ、7ページからをご確認いただけると、行政としての取組、考え方をお示ししている。ご参考にしていただき、これに対するご意見をいただければと考えている。

委員 新市の一体感の醸成について諮問をされているが、地域審議会が旧市町村の地域別に別れている。地区別ではなく、4つをまとめて分野別に分けたほうがよいのではないかと？

会長 市民参画による会議は、おっしゃられたように地区別ではいけない等の意見をここでまとめ、答申していくことができる。そのような発想で考えていただきたい。

総合政策推進部長 地域審議会は合併を進められる一つの制度。単位は、合併する前の旧市町村で一つという決め事である。大きなまちと小さなまちが合併したときに、小さなまちの声が届きにくいことに配慮した制度。この地域審議会の役割は、一つは市長の諮問に対し答申をする事。もう一つは、答申以外で地域審議会として意見を述べる事ができる。

4つの会議を解散し、再度組みなおすことは、制度上難しい。

委員 いろいろな委員会に参加しているが、人口的には旧伊勢市の人口が多いのは事実だが、その割に対等合併ということで、小さいまちを、あまりにも気にしすぎ。旧市内の者としては、そういうことをひしひしと感じる。一般的に言えば優遇しすぎという感じがする。どこの会議に行っても旧市内の方よりも意見を言っている。小さいまちの方々は、いままで少ない人数のなかで言いやすい環境にあったからかもしれないが、旧市内の人は出遅れている感じがする。もっと言わなければいけないも知れないが、そんな意味でも、せっかく一緒になったのに、いつまでも別々に会議をしてはいけないと思った。

会長 そのように、伊勢地区でももっと主張をしていくべきであ

るということを議論できる。諮問に関しても議論もしなければならぬ。議論については遠慮せず言っていただきたい。

委員 諮問に関しては、どこから考えていいかわからない。市民参画について、人によって捉え方が違うが、考えていくために、コンパクトにまとめたものが必要。資料を全部読めばよいかもわからないが。何か切り口が欲しい。

総合政策推進部長 新市建設計画のアクションプログラムの3ページに市としての現状認識、方向性等をお示ししているので、ご参考にさせていただきたい。

会長 議論の切り口については、3ページから7ページまでであるので、それを切り口にして。

委員 たたき台になるものを提示してもらえるのか？そうすれば、意見を言える。

委員 何もないと、議論しても新市建設計画アクションプログラムと同じものになる可能性もある。それでは審議会に凶った意味がなくなる。

委員 資料はしっかり熟読して、理解して、この資料から離れていっても、同じになってもよい。今日すぐに意見はいえないので、会議の方向性を決めていただき、次回までに熟読し、市に対して意見を言っていきたい。

会長 まずは資料を読んで、次回に備えていきたい。今年度はあと1回予定されているが、次の会議にどのようにつなげていくかが大切。次の会議までにみんな一度資料を読んで議論をするか、得意分野についてグループをつくって、それぞれで議論をすすめ、全体会に持ち込む方法もあるがどちらがよいか？

委員 正式会議とは別に、メーリングリストや電子会議で意見をぶつけ合って、正式会議でそれを基に意見をぶつけあう方法もあるが、会議回数が少ないので、打ち解ける間もなく会議が終わることもある。

委員 私たちは、素人的な感覚で発言する場であってよいと思うがどうか？

会長 専門的な情報が必要であれば、市の担当者から話を聞くことも可能であるし、自らの発想で意見していただくことも可能である。

委員長 研究しきって意見を述べるということは、なかなか難しい。会議が年間3回しかないなので、日常的に議論をする機会を有効に作らなければならないという旨の発言であったと思

うが、その仕組みをどのようにつくっていくか。

委員 皆さんの考え、思いを吸い上げ、申し上げる場と考えてよいか？

委員 私は自分の立場・感覚での意見を言うために来ていると考えている。

会長 それらを上手くまとめていくことになると思う。立場にあまりとらわれず、むしろ、みなさんのキャリアをどんどん出していただきたい。個人的な思いも出していただきたい。

委員 自分たちが自分たちのまちをつくる時、文化・コミュニティは、まちによって違う。だから、それぞれがより良いものを出し合うことで良いものができるという考えである。まず旧伊勢市のことに関して考えるのが地域審議会であると考えている。こうしたいと言えるまちにしたい。立場としては、あまり重たくならずにフリーな感じでやりたい。私は市民活動に関してはプロである。市民の目線で、これはおかしい、これはこうすべきということを出して、事務局に戻るのが私たちの仕事であると考えている。いいと思う事を発言できる場としていけばよいと思う。みんなが参加できることが市民活動で大切なこと。その点で、本日の日程（おおまつり直前）は非常に残念な日程の組み方である。

会長 自由に意見を言っていただける機会を作っていったらどうか？このフォーマルな会議では定数などがあるが、それにとらわれない会議を行うことについてはどうか？

委員 それぞれの立場にとらわれず、力を抜いて楽にいったらどうか？リラックスしたオフィシャルではない会議でどうか？

委員 問題も大きすぎ、何を話していいかわからない部分もある。市役所の職員がもう少し市民活動に理解があれば上手くいくと感じている。市政ができないことを市民活動でしていこうとがんばっているが、その点においては、最近市役所と良い関係でやっている。いろいろ聞いて、意見を言っていきたいが、もう少しリラックスして、よい環境ができればよいと考えている。もう少し、やわらかい雰囲気をつくっていければよいと思う。

委員 合併での問題点など、具体的なたたき台があれば意見をしやすい。合併のすり合わせで、たくさん問題があると思うので、具体的に示してほしい。それが切り口になると思う。

委員 住民の立場として、このまちが将来こうなっていけばよい

なということを書いていきたい。これからは、住民による地域力が大切だと考える。

会長 年に3回のフォーマルな会議では、意見をまとめるが、それ以外で、談話会的なところからスタートしたほうがよいかもしれないので、副会長と協議の上、後日提案させていただく。また、メールアドレスをお持ちの方は、事務局へ伝えていただきたい。郵送の方がよい方は、その旨ご連絡いただきたい。次回は、どのようにするかみなさんに提案した上で、開催のご連絡をしたい。

終了